

活動名 小学生が楽しく実習して理科好きになる 「地域と大学とのコラボによる 竹炭・竹酢液・竹塩作り体験」	団体名 大道山竹炭工房 地域 広島県東広島市 代表者 代表 今井 邦夫 支援金額 30万円
活動概要 <p>様々な知識や経験を持つ人たちがいる地域とものづくりなどの学習・研究機関である大学が密接に連携・協力を図り、自然と人とのふれあいを通じた、竹の伐採から窯・竹炭・竹酢液・竹塩作り、また、大学生の指導のもとに出来上がった製品の科学的効果の実験学習、更には作ったものを売って儲ける販売まで、普段小学校では体験出来ない「ものづくり」のすべてを太陽と豊かな自然環境の中で楽しく体験することにより、創造性、自主性、協調性を培うとともに、理科が大好きになり、将来「ものづくり日本」を担う人材になることを支援する活動です。</p> <p>◆実施場所：大道山竹炭工房及び河内小学校</p> <p>◆参加人数：主な参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大道山竹炭工房(今井、小田、永岡) ・河内小学校(教諭：小早川、科野、松野、生徒：16名) ・広島国際学院大学(准教授：渡辺 生徒：2名) <p style="text-align: right;">参加総人員 約192名</p>	



《竹の切断》



《大学生の指導のもと釜完成》



《竹炭電池製作》



《大学生による竹炭の品質指導》

◆実施に伴う効果

- ・16名全員で竹炭を伐って、風鈴を作ったが、全員の風鈴の音が違っていた。また、竹炭電池を作成し、全員の電圧を測って、誰の電池が一番高いのかなどを競争したとき、最高は1.3V、普通で0.7~0.9Vであった。
- ・これらの結果から、竹炭の長さ、硬さ、大きさなどがその製品に大きく影響することなど、色々と学ぶことがあったようです。
- ・こうした活動から、エコ電池やエコ風鈴が作れたことに、喜びがあったようです。
- ・小学校の先生から、「このような大学の准教授や大学生から理論的な学習ができ、更に作った竹炭で風鈴や電池をつくるといった学校では絶対出来ない活動をしていただき、とても感謝しています。」との声を頂き、工房としてとても満足しています。
- ・また、この活動も3年継続し、地元の方をはじめ遠方の方からも、「素晴らしい活動を長くがんばってやっているね。」との声を頂くなど、地域づくりに貢献出来たものと思っています。
- ・特に、小学校から1km以上の距離で蛇や蚊なども生息し、安全面に不安も付きまとう場所で、こうした活動が実現したのも、東広島市教育委員会、河内小学校の方々のご協力ご支援があったことであり、地域と学校の連携がより深まったことと思います。

◆苦勞した点

- ・小学校の授業の一環として、少人数のスタッフと大学との連携で活動することから、学校の授業時間、大学の授業などの調整が大変であった。
- ・生徒さんの安全を確保できるか、またどれだけ充実感を感じてもらうかの点に苦勞しました。しかし、大学との連携により、竹炭電池や竹炭風鈴、竹炭の性能評価などが出来たことは、昨年度と比べ、一段とレベルアップし、中学生レベルに近づいた活動になったものと思っております。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・トイレが無いことから、生徒さんには工房から少し離れているスタッフの自宅のトイレを利用して貰ったが、簡易トイレ的なものを設置したい。
- ・また、手洗い用の水を谷から引き込みたい。
- ・日本を代表する竹炭づくり小学校となるよう、さらにレベルアップし、海外(例えばタイなど)の小学校と連携や交流するようにしてみたい。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・新聞に掲載してもらえなかったのが残念であるが、今後はテレビで特集番組として取り上げて頂くように、発展させていきたい。
- ・小学4年生16名に、竹の伐採、窯作り、製品販売、更に竹炭電池や竹炭風鈴づくりまで貴重な体験を味わってもらうことが出来たのも、財団法人マツダ財団様のご支援を頂いたから出来たものであり、大変感謝申し上げます。